



羽合小学校 学校通信

平成27年1月7日 NO.84

## By myself (自分でする)

government of the people, by the people, for the people,

(人民の、人民による、人民のための政治)

この言葉は1863年11月19日にアメリカのゲティスバーグで行われた演説の一部です。奴隷解放宣言で有名なアメリカ第16代大統領エイブラハム＝リンカーンが南北戦争中に民主主義について述べたこの3分ほどの演説は、世界史上最も有名な演説のひとつとなりました。(1863年の日本は、京都では新撰組が結成され、長州藩では高杉晋作が奇兵隊を編成するなど尊皇攘夷、倒幕、佐幕をめぐる明治維新直前の時代でした。)

この言葉を次のようにするとどうでしょう。

**of myself, for myself, by myself,**

(自分自身の 自分のために 自分でする)  
自分のためにするのだ！自分がするのだ！

勉強でも仕事でもいやいやするのと、自分のためになるにはどうしたらいいか、自分に工夫できることはないか考えながらするのは取り組み方に大きな差が出てきます。

新年にあたり、こどもたちは勉強やスポーツなどいろいろな目標を立てたことと思います。

その目標はたいいていの場合、努力や辛抱が必要なものです。「～ができるようになりたい」「～で優勝したい」と思う時、必ず努力が必要ですし辛抱も必要なのです。その努力は「自分でする」ものです。誰か代わりに人がやってくれるわけでもありませんし、たとえやってくれたとしたらそれは「自分自身の」力にはなっていません。

勉強ができるようになりたいとすれば、ドリルの答えを丸写ししていても、できるようにはならないのです。解答という他の力を借りて宿題ができて、ひとつも力にならないということはよく知られていることです。

学校通信83号「うれしかったのしい」で紹介しましたが、どうしたらきれいになるのだろうか考え、工夫しながら行うそうじこそ本当の力になるのです。「考え工夫し実行する」ことは美化場所をぴかぴかにするだけでなく、考える力や工夫する力、試行錯誤の中から答えを導く力を伸ばします。わたしたちの羽合小学校では「ただ算数ができる」こどもたちを育てているわけではありません。算数で、国語で、体育で、そうじで、あらゆる教育活動を通じて「粘り強く自分の目標を実現できるこどもたち」を育てようとしています。その一歩目が **by myself (自分でする)** ということなのです。

### 【明けましておめでとございます】

平成27(2015)年が始まりました。3学期は学年の仕上げの学期となります。今年の成果と課題を明らかにして、進学進級にむけた力をたくわえてほしいものです。今年もよろしくお願います。

羽合小学校 寺谷英則